

City Farming 事業へイチゴ栽培技術を提供 ～植物工場で豊かな生活空間を提供する City Farming の社会実装に向けて～

日清紡ホールディングス株式会社は、「環境・エネルギーカンパニー」グループとして植物工場でのイチゴ栽培に成功して以来、さまざまな可能性を視野に栽培設備や栽培方法、栽培環境を完全コントロールする植物工場のさらなるスマート化を進めています。

その研究開発の一環として、当社は2022年8月1日から日販グループホールディングス株式会社および日本出版販売株式会社と植物工場ショーケースでイチゴを栽培する“City Farming 事業”の共同実証実験を行ってきました。その結果、日販では事業性と市場ニーズを確認することができたことから、次のステップとして City Farming を様々な生活の場に提供を進める計画です。当社においても、City Farming 用の栽培技術が確立できたことから、今後は日販に対して栽培技術のコンサルティングサービスを提供してまいります。



1. City Farmingとは？

年間を通し毎日新鮮なイチゴが収穫できる植物工場を生活空間に提供する新サービスです。文喫や箱根本箱などの様々な場づくりを手掛けた日販が事業開発、完全制御型植物工場国内初となるイチゴ量産栽培に成功した日清紡が技術開発を行ないました。

とれたてのイチゴをその場で分かち合える。そんな「持続可能な都市生活と華やかで鮮度あるコミュニティ」の創造を目指し、店舗、オフィス、公共空間といった、様々な生活の場にサービスを提供してまいります。

2. 当社が提供するコンサルティングサービスの概要

当社は今回の共同実証実験を通じて、これまで当社が培ってきた植物工場の栽培オペレーションをCity Farming用のイチゴの栽培技術にリデザインしました。今後、コンサルティングサービス事業として、①設置者（店舗など）向けイチゴ株のオペレーション、②事業者（日販）向けイチゴ株の管理オペレーションを提供していきます。

3. 今後の展望

日清紡は、食の安心安全・安定供給に向けて、植物工場システムの開発・販売を行っています。2011年に徳島事業所（徳島市）で独自に開発した完全制御型植物工場（※）で国内初となるイチゴ量産栽培に成功しました。2013年には、藤枝事業所（静岡県藤枝市）にも栽培設備を導入し、大規模での栽培実証を行っています。栽培実証にて通年栽培したイチゴは「あぼろベリー®」の商標で主に業務用として、和洋菓子メーカーなどに出荷しています。

また、一年を通して高品質のイチゴを求める声は多く、日清紡が開発したイチゴを栽培するための設備とその栽培技術（ノウハウ）を沖縄セルラー電話株式会社に提供（2017年）しています。イチゴの栽培が難しい沖縄県でも一年を通してイチゴを楽しんでいただいています。

今回の植物工場ショーケースを活用した栽培技術の提供で、通年でイチゴ栽培・収穫を楽しんでいただけるCity Farming事業の社会実装に貢献していきます。今後は「イチゴの栽培」、「イチゴ栽培設備の提供」、「イチゴ栽培技術の提供」の3本柱で植物工場に普及拡大に努め、食の安全・安心・安定という課題に取り組んでまいります。

※完全制御型植物工場とは… 外部と切り離された閉鎖的空間で、人工光源および各種空調設備を用いて養液培養で植物を生産する多段式の工場のこと。

以上

【植物工場ショーケースに関するお問い合わせ先】

日清紡ホールディングス株式会社

新規事業開発本部 企画室 TEL 03-5695-8885